

会議名 第2回 平取町地域公共交通活性化協議会

開催日	平成28年1月22日(金)		会議時間	開 会	午後	1時00分
				閉 会	〃	2時25分
会議場所	平取町役場 会議室(2階)		記録者	まちづくり課 地域戦略係 主幹 佐藤和三		
出席者	委員	泉澤会長、奥名副会長、下夕村副会長、秋田委員、木村委員 福澤委員、藤島委員、樋屋委員、互野委員、平村委員、中久保委員、				
	町	まちづくり課長、地域戦略担当主幹、地域戦略係長、地域戦略係主事、生涯学習課長				
欠席者	なし					
会議日程	<p>(1) 報告事項</p> <p>① デマンド型交通の運行結果について</p> <p>② その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2次平取町地域公共交通総合連携計画について ・ 平取町内のバス交通の再編について <p>(2) 協議事項</p> <p>① 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価等について</p> <p>② 今後の予定について</p> <p>(3) 情報提供</p> <p>有償福祉運送について</p>					

【会議内容】

<p>□報告事項</p> <p>① デマンド型交通の運行結果について</p> <p>質問：非常に良い制度であるが、予約が大変という声がある。当日の朝では利用できないのか。</p> <p>回答：前日であれば対応でき、数日後でも口頭予約は可能→訂正：平日は1時間前、土日は前日</p> <p>質問：毎回同じ時間に回ることはできないか。</p> <p>回答：巡回することで利便は図れるが、デマンドの趣旨は運行軽費の削減を図りながら足の確保が基本。費用をかければ可能であるが、平取町が交通にかけている費用も年々増加していることから、それを効率よくすることで実施している事業、予約の煩わしさはあるが、浸透を更に図って利用促進に努力をしていきたい。</p> <p>② その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2次平取町地域公共交通総合連携計画について ・ 平取町内のバス交通の再編について <p>質問：路線バスの変更であるとか高速バスで札幌を利用するなど各集落で1箇所となっている。乗車するのは高齢者か子どもたちなので、特急バスでも予約して各停留所で利用することができないか。月1回の札幌の病院利用ではあるが利便性を図ってほしい。また、本町のみどりや丘地区に朝と晩の便で構わないので、運行できないか。高校生もいて、部活動や学校活動がもう少し可能となる。以前から言っていることであるが、その辺がなぜにできないのか、理由を聞かせていただきたい。</p> <p>会長：今の質問については、委員として道南バスさんが出席されているが、この後、事務局と道南バスで具体的に協議することとしたい。</p> <p>□協議事項</p> <p>① 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価等について</p> <p>資料に基づき説明 特に意見なし</p> <p>② 今後の予定について</p> <p>次回開催は6月を予定。道南バスの回答によっては、デマンド運行路線の追加もある。</p> <p>質問：貫気別地区のデマンドについては決定事項か</p> <p>回答：道の補助金の路線なので、振内地区の路線を充実させながら振り替えることが可能であれば、検討したい。状況をみながら考えていくことになる。</p>

質問：決定事項ではないということか。

回答：そうである。

意見：実施するのであれば、スクールバスも巡回しているので、デマンドも貫気別地区を巡回するかたちを考えていただきたい。

回答：利用者の利便性を最大限考えなければならない。実施の際には運輸局とも協議しながら一番良いコースを決めていくということになる。

質問：デマンドバスは今は、本町・荷葉地区ですが、紫雲古津・去場なども団地があり、国道からは集落が離れているが、その地区を増やしたり、住民の意見を聞いたということはあるのか。

回答：新しい総合計画の説明会で地域懇談会の場では去場などから本町と同じような形という話がある。まずは実態把握などどのような需要があるのか新年度意向調査を行なってニーズとして多いというものがあれば検討していくことになるのではないかと。

意見：町外の病院は軒先まで行って乗車しているので、今度新しい病院を建てるとしたら、デマンドの使い方ももう少し週に何回か考えていただきたい。

回答：病院も患者さんの要望に応じて、通院用バスの変更の対応も柔軟に行なっているのだから、その辺も検討させていただきたい。

会長：住民の足の確保はかなり町民要望としてある。町はトータル的に1億円の費用をかけている。評価にあるように事業収入は15万程度、かかる不要が12000千円と補助もありますが、トータル的にそのような足の確保がよいのか抜本的に考えていかなければならない。これは今後の課題として皆さんの知恵を借りながら検討していきたい。

意見：これまでも発言しているが岩知志地区も高齢者が多くデマンドバスを検討していただきたい。帰路でタクシーを利用すると高額となっている状況もある。

会長：路線の拡大については運輸局さんと協議していかなければなりません。費用対効果、町が持ち出すお金と補助金と運賃収入で全体的にどうするのかを政治的な判断も含めて考えていかなければならない。十分に検討させていただきたい。幹線は道南バスが運行しているが、運行できないとしたら全て町が実施することになるので、その辺も頭に入れながら、住民の足をどうするのか、デマンドだけで終わるのかどうか、検討していかなければならないと思います。

③情報提供

有償福祉運送について 室蘭運輸支局から資料に基づき説明